

1 ねらい

- ・ 本が好きで、学校図書館を進んで利用する態度を育てる。(挑戦・探究、情報収集・判断)
- ・ 学校図書館を利用するために必要とされる基礎的な知識・技能・態度を育成することによって、望ましい学習態度と読書習慣を身に付ける。(知識・技能)

2 各学年の読書・図書館利用の目標

学年	読書の目標	目標冊数 (ページ数)	図書館利用の目標
1	やさしい読み物を楽しんで読む。	150冊	正しい利用の仕方を知り、学校図書館に親しむことができる。
2	やさしい読み物を進んで読む。	150冊	
3	いろいろな読み物を読む。	4000ページ	資料や情報収集に利用し、学校図書館の利用に慣れることができる。
4	感動を伝えながら、楽しんで読む。	4000ページ	
5	考えを深めながら読む。	5000ページ	目的に応じて資料を処理し、学校図書館を積極的に活用することができる。
6	考えを広げたり、深めたりしながら読む。	5000ページ	

学校図書館を積極的に活用し

3 具体的指導内容

- (1) 図書館のしくみときまりを共有するとともに、児童が本を借りたくなる居心地のよい環境づくりを行う。
- (2) 読書の楽しさを体験できるような活動を仕組み、学校司書と連携を図りながら図書室経営を行う。
- (3) 本や資料の使い方や分類について理解させ、児童と教職員が活用できるような本を揃える。
- (4) 読書の計画(選択のしかたも含めて)と記録ができるようにする。
- (5) 火曜日の読書タイムの時間の確保や、昼休憩時の学校図書館開放に伴う図書の貸し出しにより、読書の習慣化を図る。
- (6) 読書量を増やすため、読書がんばりカードに記入をする。また目標を達成した児童には学期ごとに賞状やトロフィーなどを渡し、表彰を行うことで、読書の楽しさを体感させる。
- (7) 読書タイムの時間等を利用して、担任による読み聞かせや、ペア読書を行い、読書に関心をもたせ、意欲につなげるような取組を行う。
- (8) 子ども読書の日及び古典の日にあわせて、本の紹介や音読などに取り組み、読書について興味をもたせる。

4 運営方法

(1) 図書室

	担当	貸し出し冊数	貸し出し期間
火・木【昼休憩 13:00～13:15】	図書委員会	1冊	2週間
月・金【すいすい日課昼休憩 12:45～13:00】	図書委員会	1冊	2週間
夏季・冬季休業前および登校日	学級担任	2冊	

※ 貸し出し・返却の際、担任・図書委員が図書カードで確認する。

- (2) 学級文庫・・・読書タイムや学習内容に合わせて利用する。管理は学級担任が行う。
- (3) 図書ボランティア・・・保護者の読み聞かせボランティアの方に読み聞かせをしてもらう。(月1回)
- (4) 環境整備・・・本の表示・掲示物・飾りなどを作り、図書室の環境整備をする。
- (5) 表彰・・・賞状を作成する。(学期ごと)